

8月の政治・経済イベント

重要 01 米国の景気動向

米国では7月末のFOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利が0.25%引き下げられました。利下げは2008年12月以来のことです。ただ、これが継続的な利下げにつながるのか、しばらく様子見となるのかはまだはっきりしません。9月17、18日のFOMCで追加利下げがあるかどうかは、今後発表される各種景気・物価指標にかかっており、その動向が注目されます。

重要 02 欧州の政治情勢

英国ではEU（欧州連合）離脱推進派のジョンソン氏が首相に就任しましたが、議会で十分な支持が得られるかはっきりしていません。イタリアでは「同盟」と「五つ星運動」との連立政権が崩れる懸念が高まっています。スペイン下院ではサンチェス首相の信任投票が否決され、総選挙やり直しの可能性もあります。欧州景気の減速感も強まっており、それに呼応して欧州政治情勢が不透明感を増すことも考えられ、注意が必要です。

重要 03 日米通商交渉

日本では参議院選挙が終了し、今後は日米貿易交渉が本格化する見通しです。米国からは牛肉などの農産品輸入増を求められたり、日本から米国への自動車輸出への制限や関税が課せられる可能性があります。さらに米国の追加利下げ観測が強まる場合には為替が円高ドル安に振れやすくなることも考えられ、政府や日銀がどのような対応を取るのかが注目されます。

8月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(木)	米国 	ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数（7月）
2日(金)	米国 	雇用統計（7月）
8日(木)	中国 	貿易収支（7月）
9日(金)	日本 	4-6月期GDP（1次速報値）
12日頃	中国 	マネーサプライ、社会資金調達金額（7月）
14日(水)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（7月）
19日(月)	日本 	貿易収支（7月）
21日(水)	米国 	7/30、31開催のFOMC議事録発表
22日(木)	ユーロ圏 	製造業/サービス業/総合PMI（購買担当者景気指数、8月速報値）
24～26日		G7首脳会議（フランス、ビアリッツ）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。